

平成 19 年 2 月 7 日

すがも野外らいぶ in 眞性寺 開催！！

～お年よりにやさしいまち巣鴨で、ロックやジャズ～

本日 7 日(水)、「おばあちゃん原宿」で有名な巣鴨で「すがも野外らいぶin眞性寺」が開催された。

門前町としての巣鴨は、縁日の行われる毎月 4 の付く日は、信仰心からの参詣客で賑わいがあつたが、ここ数年はむしろ土日に大勢の人出で賑わうようになっている。主催する巣鴨駅前商店街振興組合の中では、観光客の賑わいは歓迎するが、4 の付く日や平日に客数が減っており、長期的な視点で見ると不安な要因であると危惧しているという。こうした中、組合の青年部員 27 歳から 45 歳までの 10 名が新たなまちの活性化策として、「平日でも何か面白いことを行っている」「いつでも巣鴨で」をキャッチフレーズに、ヘブンアーティストのパフォーマンスやセミプロの歌手やバンドによるコンサートの開催を理事会へ提案した。先輩の組合幹部等は、青年部の企画案を快く受け入れてくれたという。

日 時 平成 19 年 2 月 7 日 (水) 午前 11 時～午後 5 時

場 所 眞性寺境内 (巣鴨 3-21-21)

主 催 巣鴨駅前商店街振興組合

当日の様子
参加者の声
など

午前 11 時から始まった「すがも野外らいぶ in 眞性寺」。トップバッターは、「マジカルパフォーマー Ken」がカードマジックやジャグリングを披露。境内に参詣で集まった中高年も初めて見る出し物に驚いた様子。その後も、「スゴイタイツ」のジャズ演奏や、普段はハードロックを響かせる「アトミック山中」がお年寄りに優しいアコースティックな曲を演奏した。ほかにもアカペラや琉球舞踊など、老若男女、誰にとっても楽しめる内容であった。

大阪から観光で来た参詣客の一人は「巣鴨に来ることを楽しみにしていた。地藏様にお参りする前に、面白い大道芸を見られ、とっても楽しかった」と感想を述べた。

青年部長の長島正文さんは「巣鴨に住む人にもまちのすばらしさを知って欲しい。このイベントをきっかけに、何か巣鴨でやっている、この 1 回で終わることなく、細く長く続けていきたい」と話した。

次回の開催は 3 月下旬の桜まつりを予定しているという。

* 写真は
メールで
送信しま
す



問合せ 巣鴨駅前商店街振興組合